

会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和4年度 第2回
開催日時	令和4年6月28日（火曜日） 午後6時15分から8時10分まで
開催場所	田無庁舎 502 会議室
出席者	出席：小澤委員長、安田副委員長、井上委員、荻草委員、喜多野委員、小松委員、笹川委員、篠宮委員、鈴木委員、平委員、中村委員、山辺委員、山田委員、横森委員 欠席：堀内委員 事務局：下田部長、和田課長、福田係長、藤野主査
議題	(1) 令和4年第1回男女平等参画推進委員会会議録の承認について (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の令和3年度実績評価について (3) その他
会議資料の名称	【配布資料】 (1) 令和4年度第1回西東京市男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画 事業実績評価報告（令和3年度）（A・B・Cグループ） (3) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画 各課事業評価報告（修正箇所抜粋）（令和3年度）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【開会】</p> <p>○委員長：これより第2回男女平等参画推進委員会を開催する。 事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。 続いて事務局より配布資料の確認をした。</p> <p>（1）令和4年度第1回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について</p>	

事前に修正意見あり。その他異議なく承認された。

(2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画・西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画・西東京市女性の職業生活における活躍推進計画の令和3年度実績評価について

○委員長：事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：皆様からいただいた評価を資料2としてグループ別にまとめさせていただいた。この後グループ内で確認していただき、進捗状況を発表していただきたい。質問等もあればお受けする。

評価に当たって何人かの委員からご質問をいただいた。未回答のものもあるが、担当課に確認した結果、各課の評価の記載を修正したものがある。その修正・追記した箇所のみ抜粋したものが資料3になる。

(修正箇所について説明)

未回答のご質問につきましては、各課に確認し、できるだけ早く回答させていただく。

(グループに分かれて評価の確認を行った。)

○委員長：時間になったので、Aグループから順に話し合った内容と今後の修正の有無等について報告をお願いしたい。

○副委員長：Aグループは昨年度と同じ担当箇所を評価した。昨年度と同じ記載が多かったのは残念である。執行状況の記載について、具体的な数字や事業評価が書かれていないので評価が出来ない。提案だが、評価の仕方を変えて、具体的に書く欄を設けてそこに具体的な数字や男女比を記載いただくと評価しやすい。また、「評価上の着眼点」のチェック表を作り各課に記入してもらうようにすると、前年と同じ記載内容であっても、考えたうえで記載していただいていることがわかるので良いのではないかと。必要な視点を持つようにしていくための計画なので、担当課と委員会が同じ認識で評価できればよい、というようなことを話し合った。

また、新しい法律が施行されるなど現状は刻々と変わっているが、そうしたことに言及がないこともどのような認識をされているのか、疑問に感じた。また、担当者だけでなく、市長以下管理職の方々に、全ての計画の執行に当たってジェンダー平等、ジェンダー主流化が必要だという認識を持って進めていただきたい、ということも話し合った。

評価の進捗については、質問の回答待ちのもの以外も含めて、持ち帰って再度検討したい。

○委員長：Bグループでは、各種委員会、審議会の男女比について、そもそもどのような委員会なのかわからないものもあるので、それらがわかるとよいという話があった。

○委員：各種事業の参加者の記載について、男女の内訳が書かれていないが、評価に当たっては参考になるので、できればデータを取って記載していただきたい。

○委員：女性管理職について微増となっているが、記載にある「進めていく」「周知していく」という取組の結果どうなったのかが見えなかったの、わかるように記載していただきたい。

女性相談の電子申請の開始や、パリテまつりのホームページが出来たことはとてもよかった。

○委員長：評価の進捗については、文言修正を含めて各委員とも修正があるので、改めて提出し

たい。

- 事務局：パリテ講座では参加者の性別を聞いていない。担当と相談員とで話し合い、性別は聞かないことにした。パリテまつりは実行委員会で話し合い、従来どおり聞くことにしたが、「回答したくない」という選択肢を設けた。評価する上では男女比が必要か。
- 委員：あった方がよい。
- 事務局：年代や講座を知った媒体については聞いているが、性別についても聞くようにしたい。
- 委員：3つ目を何にするかは問題で、「その他」とする例が多いが、「回答したくない」とすると「回答したいが選択肢がない」という方は該当しなくなるので、検討する必要がある。
- 事務局：パリテまつりの場合は当事者団体の方が委員にいたのでご意見を伺いながら決めた。
- 委員：「その他」と「回答したくない」と両方載せるとよいのではないか。LGBT以外の方もいるので、項目を増やしてもよいかもしれない。
- 委員：啓発事業の担当者が、市民活動団体の方と話し合っただけで決めたということはとても素晴らしいことで、パリテらしい。こうしたことが他の課にも良い影響を与えると良いと思った。
- 委員：性別の聞き取りについて、良い悪いではなく、評価を行う委員会としてはあったほうが評価しやすい、ということである。
- 事務局：今後のスケジュールについて、評価については次回を目途に固めていきたいと考えている。

- 委員長：本日の議題は以上であるが、今期の委員会は今日が最後なので、各委員からひと言ずつご挨拶をいただきたい。
- 委員：評価をしていて、委員会から担当課へ伝えたいことを伝えて、相互に確認しないと認識がずれたまま進んでしまうので、そういう所を大切にしたいと思った。
- 委員：委員会からの提案が担当課に伝わっているか、担当課評価から見えてこないケースが多いので、そういった点を改善し、次年度の予算編成に委員会評価が反映できるよう、協働コミュニティ課にはお願いしたい。
- 副委員長：この2年間はコロナで、ジェンダー平等が進んでいないことが明らかになったと思う。計画が現状を動かすものになっていけばいいなと思った。
- 委員：男女平等、ジェンダー平等と親和性が高い多文化共生の視点から関わらせていただき、たくさん学ばせていただいた。市でも取り組んでいただいているがなかなか浸透しない。少しずつ改善されることを期待している。
- 委員：子育てをした経験から、男女関係なく、一人一人が認め合える社会になればいいなと思い参加させていただいたが、進めるのは簡単ではないのだと感じた。計画に書かれたとおりの西東京市になれば、本当に住みやすい街になると思うので、そうなるよう願っている。
- 委員長：厳しい意見が出ることもあるがまとまりのある委員会であり、委員会運営にご協力いただき感謝している。
- 委員：いろいろな分野で活躍されている方々の意見を伺って、もっともっと勉強していきたい

というモチベーションになった。こうした委員会に市民も参加できることは意義があることだと思うので、計画や審議会についてももっと啓発をしていただくと良いと思う。

- 委員：男女共同参画は進んでいないと言われるが、法律が出来た2000年頃からはかなり進んできていると思う。ただ大災害など緊急時には後回しにされてしまうので、ふだんからの積み重ねが大事だと思う。皆さんと議論しながら私自身も刺激を受けてがんばっていききたい。
- 委員：仕事をしている中でも男女平等に関する話題が出るなど、世の中が変わってきていると感じる。そこに携わっていただけることに感謝しつつ、私たち大人がこれからの子どもたちのために何かを変えていかなければいけない、という使命感を持ってやっていきたい。
- 委員：労働問題に長く携わってきた。労働分野での女性の地位は向上してきたが、やはり大企業と中小企業では差があり、相談を受ける中でも女性ならではの課題があると感じている。今回労働分野以外についても学ばせていただいたので、自分の仕事にも生かしていきたい。
- 委員：男女平等を意識せずに育った世代だが、子どもの世代は、例えば生徒会役員が女の子だったりするのを見ると、大分違うなと感じる。委員会を通して、様々なことに気づけるようになった。前回の勉強会でも、自分自身に無意識な偏見があると気づかさせていただいた。
- 委員：厳しい意見を言わせていただくことが多いと思うが、言った以上は自分自身しっかりやろうと考えている。また女性参画はとても大事だと思うが、男性が男女平等やLGBTQなどが大事だと理解し、学ぶことが非常に重要だと思う。そうした活動も含めてやっていきたい。
- 委員：児童館や学童クラブを運営するNPOの事務局長だった当時、男女平等やジェンダーバランスは子どもの頃からの意識づけが大事だと感じて、市民委員に応募し、委員会での学びを職員に伝えてきた。市民活動推進センターで市民活動事業を組み立てていくうえでもここで学んだことは大きかった。それが少しでもこの街の魅力につながっていただければいいなと思う。
- 委員：意欲的な皆様に刺激をいただけてきた。学校の中で、子どもたちに対して色々なことを意識してやらなければならないのだということを学ばせていただいた。女性管理職の育成なども含めて、学校教育でやれることを取り組んでいきたい。
- 事務局：2年間お世話になりました。PDCAサイクルのCの部分で皆様にご協力いただいておりますが、次のアクションにつなげていけるようこれからも取り組んでまいります。評価については途中ではありますが、チームとして次の委員の方に引き継いで参りますので、よろしくお願いいたします。
- 事務局：計画を進めて目標を達成するのが計画に対する我々の責務だと認識しています。思うように進んでいない部分もあろうかと思いますが、評価の前提としていただいている皆様のご意見を踏まえながら対応してまいります。評価を次に活かすことが重要ですので、PDCAサイクルを具体的にどのように事業として進めていくか、という仕組み作りが協働コミュニティ課の役割だと認識しています。今回で委員会を離れる方からも、市民としてのご意見をいただきながら今後も進めていければと考えています。ありがとうございました。

(3) その他

- 委員長：その他何かありますか。
- 事務局：次回の委員会は8月2日（火）午後6時15分から、503会議室で開催を予定している。
ご出席いただく委員の方には、別途ご案内差し上げる。
今回は重点課題別評価をご議論いただくので、担当者の方は7月20日（水）までにメール等で提出してください。質問等あれば事務局までご連絡を。
- 委員長：本日はこれにて散会する。お疲れさまでした。

【閉会】